

○金融庁告示第 号

金融商品取引業等に関する内閣府令（平成十九年内閣府令第五十二号）第二百二十三条第十二項第五号及び第十三項第五号の規定に基づき、金融商品取引業等に関する内閣府令第二百二十三条第十二項第五号及び第十三項第五号の規定に基づき、同条第一項第二十一号の十又は第二十一号の十一に規定する措置を講じなくても公益に反し又は投資者の保護に支障を生ずるおそれがないと認められる場合を指定する件（平成二十八年金融庁告示第四十八号）の一部を次のように改正し、令和 年 月 日から適用する。

令和 年 月 日

金融庁長官 氷見野 良三

次の表により、改正前欄に掲げる規定の傍線を付した部分をこれに順次対応する改正後欄に掲げる規定の傍線を付した部分のように改め、改正後欄に掲げるその標記部分に二重傍線を付した号の細分を加える。

改正後	改正前
<p>金融商品取引業等に関する内閣府令（平成十九年内閣府令第五十二号）<u>第二百二十三条第十二項第五号及び第十三項第五号の規定に基づき</u>、同条第一項第二十一号の十又は第二十一号の十一に規定する措置を講じなくても公益に反し又は投資者の保護に支障を生ずるおそれがないと認められる場合を次のように指定する。</p> <p>（定義）</p> <p>第一条 この告示において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。</p> <p>一 「略」</p> <p>二 対象外国法令等 次のイからトまでに掲げる国又は地域の区分に応じ、当該イからトまでに定める外国の法令その他の規則（これに関連する外国の法令その他の規則を含み、金融商品取引業等に関する内閣府令（以下「府令」という。）<u>第二百二十三条第一項第二十一号の十及び第二十一号の十一に規定する措置に相当する措置に関する部分に限る。</u>）をいう。</p> <p>〔イ〕ホ 略</p> <p>〈 欧州経済領域協定に規定された国 Regulation (EU) No 648/2012 of the European Parliament and of the Council (European Markets Infrastructure Regulation - EMIR) 〉</p>	<p>金融商品取引業等に関する内閣府令（平成十九年内閣府令第五十二号）<u>第二百二十三条第十項第五号及び第十一項第五号の規定に基づき</u>、同条第一項第二十一号の五又は第二十一号の六に規定する措置を講じなくても公益に反し又は投資者の保護に支障を生ずるおそれがないと認められる場合を次のように指定する。</p> <p>（定義）</p> <p>第一条 「同上」</p> <p>一 「同上」</p> <p>二 対象外国法令等 次のイからへまでに掲げる国又は地域の区分に応じ、当該イからへまでに定める外国の法令その他の規則（これに関連する外国の法令その他の規則を含み、金融商品取引業等に関する内閣府令（以下「府令」という。）<u>第二百二十三条第一項第二十一号の十及び第二十一号の十一に規定する措置に相当する措置に関する部分に限る。</u>）をいう。</p> <p>〔イ〕ホ 同上</p> <p>〈 欧州経済領域協定に規定された国 Regulation (EU) No 648/2012 of the European Parliament and of the Council (European Markets Infrastructure Regulation - EMIR) 〉</p>

ト|| グレートブリテン及び北アイルランド連合王国 Regulation

(EU) No 648/2012 of the European Parliament and of the Council  
(European Market Infrastructure Regulation - EMIR)

三 対象外国当局 次のイからトまでに掲げる国又は地域の区分に応じ、当該イからトまでに定める外国の当局（当該外国の当局から対象外国法令等に関する権限の委任を受けた者を含む。）をいう。

「イ」へ 略]

ト|| グレートブリテン及び北アイルランド連合王国 Prudential

Regulatory Authority, Financial Conduct Authority

四 [略]

（府令第二百二十三条第一項第二十一号の十に規定する措置を講じなくても公益に反し又は投資者の保護に支障を生ずるおそれがないと認められる場合）

第二条 府令第二百二十三条第十二項第五号に規定する金融庁長官が指定する場合は、当分の間、金融商品取引業者等が行った非清算店頭デリバティブ取引（同条第一項第二十一号の十に規定する非清算店頭デリバティブ取引をいう。以下この条において同じ。）に対し、同号の規定及び対象外国法令等が重複適用される場合において、当該金融商品取引業者等が、当該非清算店頭デリバティブ取引について当該対象外国法令等に準拠して、同号に規定する措置に相当する措置を講じている場合（当該非清算店頭デリバティブ取引の当事者

[号の細分を加える。]

三 対象外国当局 次のイからトまでに掲げる国又は地域の区分に応じ、当該イからトまでに定める外国の当局（当該外国の当局から対象外国法令等に関する権限の委任を受けた者を含む。）をいう。

「イ」へ 同上]

「号の細分を加える。」]

四 [同上]

（府令第二百二十三条第一項第二十一号の十に規定する措置を講じなくても公益に反し又は投資者の保護に支障を生ずるおそれがないと認められる場合）

第二条 府令第二百二十三条第十二項第五号に規定する金融庁長官が指定する場合は、当分の間、金融商品取引業者等が行った非清算店頭デリバティブ取引（同条第一項第二十一号の十に規定する非清算店頭デリバティブ取引をいう。以下この条において同じ。）に対し、同条第一項第二十一号の十の規定及び対象外国法令等が重複適用される場合において、当該金融商品取引業者等が、当該非清算店頭デリバティブ取引について当該対象外国法令等に準拠して、同号に規定する措置に相当する措置を講じている場合（当該非清算店頭デリ

に対し、当該対象外国法令等を執行する対象外国当局が適切な監督を行う場合に限る。)とする。

(府令第二百二十三条第一項第二十一号の十一に規定する措置を講じなくても公益に反し又は投資者の保護に支障を生ずるおそれがないと認められる場合)

第三条 府令第二百二十三条第十三項第五号に規定する金融庁長官が指定する場合は、当分の間、次の各号に掲げる要件のいずれにも該当する場合とする。

一 「略」

二 次のイ又はロのいずれかに該当すること(前号の措置を講じる場合において、定量的計算モデル及び外国定量的計算モデルを用いない場合並びに告示第一条第二項の規定に基づく届出を行っている場合を除く。)

イ 金融商品取引業者等(外国(第一条第二号イからトまでに掲げる国又は地域に限る。以下この号において同じ。))の法令に準拠して設立された者及び親会社(法第五十七条の二第八項に規定する親会社をいい、他の会社(外国会社を含む。))の子会社(法第二十九条の四第四項に規定する子会社をいう。)であるものを除く。ロにおいて同じ。)が外国の法令に準拠して設立されたものである者を除く。)が、前号の措置を講じようとする場合において、定量的計算モデルを用いようとするときに、あらかじめ、告示第七条第一項各号に掲げる事項を記載した

バタイプ取引の当事者に対し、当該対象外国法令等を執行する対象外国当局が適切な監督を行う場合に限る。)とする。

(府令第二百二十三条第一項第二十一号の十一に規定する措置を講じなくても公益に反し又は投資者の保護に支障を生ずるおそれがないと認められる場合)

第三条 「同上」

一 「同上」

二 「同上」

イ 金融商品取引業者等(外国(第一条第二号イからトまでに掲げる国又は地域に限る。以下この号において同じ。))の法令に準拠して設立された者及び親会社(法第五十七条の二第八項に規定する親会社をいい、他の会社(外国会社を含む。))の子会社(法第二十九条の四第四項に規定する子会社をいう。)であるものを除く。ロにおいて同じ。)が外国の法令に準拠して設立されたものである者を除く。)が、前号の措置を講じようとする場合において、定量的計算モデルを用いようとするときに、あらかじめ、告示第七条第一項各号に掲げる事項を記載した

<p>備考 表中の「」の記載は注記である。</p>	<p>2 ロ 「略」</p> <p>届出書に同条第二項各号に掲げる書類を添付して金融庁長官に提出していること。</p>	<p>2 ロ 「同上」</p> <p>届出書に同条第二項各号に掲げる書類を添付して金融庁長官に提出していること。</p>
---------------------------	---	--